



チャレンジ！前へ！Season1

ウェルビーイングを目指して。チャレンジ！前へ！

新緑さわやかな季節を迎えました。4月もあっという間に過ぎた感じがします。特に、今年度本校に赴任した先生方にとっては手探りの1ヶ月だったのではないかと思います。目の前にいる子供たちの仕草、表情、行動などを通して得られる「思い」は様々です。一人一人を見ていくのは大変かもしれませんが、子供たちの些細な成長を感じられることが私たちの仕事であり、ウェルビーイングなのかもしれませんね。



本校の目指すところはウェルビーイング



ウェルビーイングは、**心身共に満たされ、充実した状態**を指します。言葉はなんとなくかっちょいい。でもかっちょいいだけではなく実感できることが必要なのです。しかしながら、人はいつも幸せであり、楽しく、心が満たされ、充実しているわけではありません。時にはがっかりしたり、打ちのめされたり、嫌なことがあることが「普通」です。鬼滅の刃の柱の一人でもある煉獄杏寿郎は「己の弱さや不甲斐なさにとれだけ打ちのめされようと心を燃やせ！歯を食いしばって前を向け」と檄を飛ばしました。『嫌なことがあっても前に向けることがウェルビーイングの意義』なのかもしれませんね。ただ、何の気持ちもなく、何も感じずではウェルビーイングに触れることはできません。子供たちも、保護者の皆さんも、先生方も「心」をもってほしい。もちろん、私もですね。

学校教育目標よりももっともっと上にあるもの。それがウェルビーイング。だからこの4つの「心」は学校、家庭、地域、大人、子供など関係なく必要なのです。

ありがとうの心

誰かが何かをしてくれているんだなという心をもつことで、自分は大切にされていると思える。自然と「ありがとう」が言えることは、自分に対しても大切なことです。「ありがとう」が言えるって素晴らしいのですよ。

ありのままの心

周りができて、自分にできないからダメではないのです。自分は自分でいい。あなたはあなたでいいのです。意見は聞くけど、最後は自分のことは自分で決めていく。周りがなんと言おうと自分の価値は変わらないのです。

なんとかなるの心

自分自身を「きっと大丈夫」と信じる気持ちや、気持ちを切り替えて心配や不安を引きずらない心。やるべきことをやったら「後はなんとかなる！」って思うことが大切なんです。これってけっこう重要なんですよ。

やってみようの心

難しいことにも自分らしく向き合うことができたり、失敗したって大丈夫なんだという気持ちをもったりするとともに、とにかくやってみようという前向きな心です。チャレンジ！前へ！の原点にもなります。

4つの心



この4つの「心」を朝会を通して子供たちに話していきたいと思います。子供たちの笑顔、保護者の皆さんの笑顔、教職員の笑顔はすぐそばにあります。少しでもみんなが笑顔になれるように！！

